

気象予警報の地域分け

- 西部**
 - 尾張東部 名古屋市、瀬戸市、春日井市、犬山市、小牧市、尾張旭市、豊明市、日進市、愛知郡
 - 尾張西部 一宮市、津島市、江南市、稲沢市、岩倉市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、西春日井郡、丹羽郡、海部郡
 - 知多地域 半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知多郡
 - 西三河 豊田市（西三河北東部の区域を除く）、西加茂郡
 - 西三河 南部 岡崎市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、幡豆郡、額田郡
- 東部**
 - 西三河 北東部 豊田市（旭支所管内、足助支所管内、稲武支所管内、下山支所管内）
 - 東三河 北部 新城市、北設楽郡
 - 東三河 南部 豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市、宝飯郡

東海地震に関する情報発表と対応

情報名	発表基準	外出している場合	自宅にいる場合
観測情報	異常値が発見された場合	情報に注意する	
注意情報	東海地震の前兆現象の可能性が高まったと認められた場合。	<ul style="list-style-type: none"> ●できるだけ速やかに帰宅する（この段階では公共交通機関は動いているため帰宅できる。）落ち着いて行動する。 ●学校・授業中止、児童、生徒は下校。 	<ul style="list-style-type: none"> ●テレビ・ラジオでさらに正確な情報の把握に努める。 ●不用意に歩かない。この時点では避難場所は開設されていない。 ●家の中の整理、火の始末、動きやすい服に着替える。非常時持出品の確認、準備などをする。
予知情報	東海地震の発生の恐れがあると判断された場合に発表される。ほぼ同時に警戒宣言が発令され、本格的な防災体制が敷かれる。	<ul style="list-style-type: none"> ●地下鉄・市バスは最寄りの駅などに停車する。 ●帰宅などのため移動する場合は徒歩となる。市の施設やコンビニなどで飲料水の提供、トイレの提供、休息場所の提供、帰宅経路の案内が受けられる。 ●東海道新幹線は、「名古屋—新大阪」間で運行を継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ●身を守るため、安全な場所を確保する。 ●正確な情報をテレビ・ラジオなどから得る。 ●不必要な火を使わない。 ●避難する場合は、電気ブレーカーを切り、ガスの元栓を締める。

警戒宣言時の対応（強化地域内）

- 避難** ●避難対象地区の方は、指定されている避難地（原則として屋外）へすみやかに避難。
- 避難対象地区以外の方は、耐震性が確保された自宅を待機し情報に注意する。
- ライフライン** ●飲料水・電気・ガスは供給継続。
- 電話** ●一般通話利用制限あり。（警戒宣言前の段階から「災害用伝言ダイヤル171」を提供）
- 鉄道・地下鉄** ●強化地域内への進入を禁止、最寄りの安全な駅に停車。●震度6弱未満、津

- 波なしの地域では、安全に運行可能と判断した場合は運行継続する。※東海道新幹線：名古屋—新大阪間の運行継続。
- 一般道路・高速道路** ●走行は極力抑制。●インターチェンジ等からの流入制限・強化地域内への流入制限。（流出制限は無し）
- 金融機関** ●一部のオンライン稼働を除き営業中止。●郵便局は郵便貯金の払戻しの窓口取扱い（通常の営業時間内）を行う。

- 百貨店・コンビニ等** ●原則営業中止。●耐震性を有するなど安全性が確保される場合は、営業を継続。
- 病院** ●原則外来診療中止。●耐震性を有する病院は診療を継続。
- 学校** ●東海地震注意情報が発表された場合、授業中止、児童・生徒等は下校。（保護者引渡し）
- 県の施設** ●県民が利用する施設は、東海地震注意情報が発表された場合、原則として閉館。

その他の災害

●台風による災害

■大きさの階級分け

階級	風速15m/秒以上の半径
大型（大きい）	500km以上 800km未満
超大型（非常に大きい）	800km以上

■強さの階級分け

階級	最大風速
強い	毎秒33m以上 毎秒44m未満
非常に強い	毎秒44m以上 毎秒54m未満
猛烈な	毎秒54m以上

●土砂災害

こんな「がけ」は危険です。

- はり出している「がけ」
- 勾配が30度以上、高さが5m以上の「がけ」
- 雨が集中して流れるところがある「がけ」
- 斜面に亀裂がある「がけ」
- 不安定な岩や土のかたまりがある「がけ」
- わき水が出ている「がけ」

●風・水害

平均風速	予報用語	人への影響	建造物への被害
10~15m/秒	やや強い風	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める。
15~20m/秒	強い風	風に向かって歩けない。転倒する人も出る。	ビニールハウスが壊れ始める。
20~25m/秒	非常に強い風	しっかりと体を確保しないと転倒する。	鋼製シャッターが壊れ始める。風で飛ばされた物でガラスが割れる。
25~30m/秒	(暴風)	立ってられない。	ブロック塀が壊れ、取り付けの不完全な屋外装材がはがれ、飛び始める。
30m/秒~	猛烈な風	屋外での行動は危険。	屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる。
1時間の雨量	予報用語	人の受けるイメージ	建造物への被害
10~20mm	やや強い雨	ザーザーと降る。	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。
20~30mm	強い雨	どしゃ降り。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。
30~50mm	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。
50~80mm	非常に激しい雨	滝のように降る。（ゴーゴーと降り続く）	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの被害が発生する。
80mm~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。	雨による大規模な災害が発生するおそれ強く、厳重な注意が必要。

防災は 地域みんなの 支え愛

地震防災家庭でチェック

高校生の部 最優秀作品
広めよう 防災づくりの 地域の輪

自宅について

- 家の地盤の状況を知っていますか
- 昭和56年以前に建築された木造住宅の場合、耐震診断は実施済みですか
- 耐震診断の結果、危険と判断された場合、耐震改修は実施済みですか
- ブロック塀や石塀など、地震時に倒壊の恐れがあるものの点検・補強は実施してありますか

中学生の部 最優秀作品
備えよう 知っているだけでは もう遅い

部屋の中の状況について

- 玄関に、出入りの障害となるものが置いてありませんか
- 家具の下敷きになる位置で就寝していませんか
- 家具などの転倒防止対策はとっていますか
- 窓ガラスや家具のガラス扉に飛散防止フィルムは貼ってありますか
- 洋服ダンスや食器棚などの観音開きの扉は、地震動で簡単には開かないようになっていますか
- 棚やタンスの上から重いものが落ちてこないようになっていますか
- カーテンやカーペットは難燃性又は防炎性のものを使用していますか
- 照明器具の落下防止対策はとっていますか

震災時 命をつなぐ 家具固定

学校へ通うお子さんのいるご家庭について

- 通学路に自動販売機、ブロック塀など、地震発生時に転倒、倒壊等の恐れのあるものを子供さんと確認してありますか
- 東海地震に関する注意情報が発表された場合の、学校から親御さんへの子供の引き渡し方法は決めていますか

自宅以外にお勤めの方について

- 東海地震の警戒宣言が発せられた場合に、帰宅するための公共交通機関が停止するかどうか知っていますか
- 通勤経路に自動販売機、ブロック塀など、地震発生時に転倒、倒壊の恐れのあるものを確認してありますか
- 職場の周辺の避難場所の名称、位置を知っていますか

大地震 守れていますか 自分の家族

自宅での備えについて

- 食料関係
 - 水（1人1日3リットルが目安）
 - 乾パンやクラッカー、缶詰
 - ナイフ、缶切り
 - レトルト食品
 - 鍋や水筒
 - 卓上コンロ
 - 粉ミルク・ほ乳びん（赤ちゃんがいる場合）

備えよう 水と食料、防災用具

- 貴重品
 - 印鑑
 - 現金（小銭も）
 - 預金通帳や有価証券などの権利証書
 - 連絡カードや身分を証明するもの
- 安全対策
 - 救急医療品
 - 常備薬の予備
 - ヘルメットや防災頭巾、帽子
 - 底の厚い靴
 - 軍手
 - 防塵マスク

防災は 日々の備えの 積みかさね

- 衣類関係
 - 衣類・下着
 - 寝袋
 - 雨具
 - タオル・毛布

そろってますか 防災グッズ わかっていますか 避難場所

- 日用品
 - 携帯ラジオ
 - 懐中電灯
 - 予備の電池
 - マッチやライター
 - ロープ
 - 包装用ラップ
 - ティッシュペーパー・生理用品
 - 使い捨てカイロ
 - 筆記用具
 - ビニール袋（ゴミ袋）

※太字は非常持出品

みなおそう 地震対策 万全に

自主防災活動について

- 誰が自主防災会長か知っていますか
- 自分が属する自主防災組織が範囲とする地域がどこからどこまでか知っていますか
- 自主防災組織内の役割分担は決まっていますか（情報収集係、伝達係など）
- 地域の防災倉庫がどこにあるか知っていますか
- 防災倉庫の中に何が備えられているか知っていますか（消火器、スコップ、パール、発電機、可搬式小型動力ポンプなど）
- 今年、自主防災組織の防災訓練に参加しましたか
- 今年、自主防災組織で地域内の防災組織の普及活動を実施しましたか

防災意識 地域で高め 助け合い

地震発生時の危険度について

- 東海地震の警戒宣言が発せられた場合の避難対象地区の指定を受けているかいないか知っていますか
- 避難動向・指示が伝達される経路や方法を知っていますか（広報車、防災無線、町内会からなど）
- 家の周辺のがけやため池、川などの危険箇所を確認してありますか
- 東海地震や東南海地震が発生したとき、津波による浸水の危険がある地域かどうか知っていますか

いえますか？ わたしと かぞくの ひなばしよ

避難場所について

- 避難場所の名称、位置を知っていますか
- 避難場所までの経路を歩いたことがありますか
- 避難場所までの経路で自動販売機、ブロック塀など、地震発生時に転倒、倒壊等の恐れのあるものがないか確認してありますか
- 避難場所までの経路がビルの倒壊や障害物等で遮断された場合の代替経路を確認してありますか

家族同士の話し合い・申し合わせについて

- 地震が発生した場合の家族の集合場所や連絡方法は決めてありますか
- 家族全員が災害用伝言ダイヤル「171」の使い方を知っていますか